

H22 年度にスタートした私共の科研費新学術領域研究「気候系の hot spot：熱帯と寒帯が近接するモンスーンアジアの大気海洋結合変動」(2205) [略称：中緯度海洋と気候] では、只今来年度から 2 年間 (25～26 年度) の公募研究を募集中です。

研究領域の全体像や各計画研究の研究内容・成果、22～23 年度の公募研究については当領域 HP をご覧ください：<http://www.atmos.rcast.u-tokyo.ac.jp/hotspot/>

募集に関する具体的な事項は、文科省 HP に掲載された公募要領からの抜粋 (メール末尾) をご覧下さい。予算規模としては、現場観測を含む研究は年度当り 400 万(上限)、数値モデリング・データ解析の研究は年度当り 200 万(上限)を想定しています。計画研究班が実施する集中現場観測との共同観測や地球シミュレータ利用枠を計画研究班と共同使用することも可能です。

文科省の HP

http://www.mext.go.jp/a_menu/shinkou/hojyo/boshu/1324980.htm

にもありますように、本公募研究に特に深く関連する書類は「様式 S-1-21」と「別表 6」です。なお、本公募研究の募集は他の一般の科研費と同様に行なわれ、申請締切も他の科研費と同じです。審査は過半数を占める外部委員を含めたチームにより、公正・公平に行なわれます。

最近注目を集めている中緯度の強い海流に伴う大気海洋相互作用に関わる諸現象に興味をお持ちの方には、是非奮ってご応募頂き、採択の暁には一緒に研究を進められることを楽しみにしております。

もしご不明な点があれば、領域代表に遠慮なくお尋ね下さい。

中村 尚 (hisashi@atmos.rcast.u-tokyo.ac.jp)

東京大学 先端科学技術研究センター 気候変動科学分野

〒153-8904 東京都目黒区駒場 4-6-1

TEL: (03) 5452-5145, FAX: (03) 5452-5148

領域略称名：中緯度海洋と気候 (領域番号：2205)

設定期間：平成 22 年度～平成 26 年度

本領域は、東アジア縁辺海・北西太平洋における多様な大気海洋(雪氷)相互作用現象を、モンスーンの影響下にある大規模な海流とそれに伴う水温前線や渦に着目して包括的に解明することを目指している。そのため、気象学・海洋学という分野、データ解析・現場観測・数値モデリングという異なる手法を横断・融合する形で以下の研究項目を設け、「計画研究」により重点的に研究を推進するとともに、関連した 2 年間の研究を公募する。1 年間の研究は公募の対象としない。また、研究分担者を置くことはできない。

公募研究の採択目安件数としては、単年度当たり(1 年間)の応募額 400 万円を上限とする研究を 3 件程度、200 万円を上限とする研究を 5 件程度予定している。

各計画研究や他の公募研究と連携し相乗効果を発揮できる意欲的な研究を期待する。特に、(1)黒潮続流域における計画研究の集中観測(25 年度)を補完する観測研究や他海域での観測研究、(2)既にも実施したものを含め現場観測で得られるデータの解析や、衛星観測や数値モデリングと融合させる研究、(3)大気海洋海水相互作用が海洋・陸上の生態系や海洋化学過程に与える影響、または大陸起源のエアロゾルが海上の雲形成に与える影響の研究、(4)台風や強い低気圧に伴う多様な大気海洋相互作用過程の解明を目指す観測や高解像度モデリング実験、(5)本領域や他研究で実施する高分解能モデル実験や、古気候再現実験・温暖化予測実験の出力データを中緯度大気海洋相互作用の観点から解析する研究等を歓迎する。

- ・ A01 モンスーンアジア縁辺海における大気海洋相互作用
- ・ A02 北太平洋における大気海洋相互作用とモンスーンシステム
- ・ A03 大規模大気海洋雪氷相互作用と成層圏までの鉛直結合変動

(平成 23 年度公募研究: 平均配分額 2,008 千円; 最高配分額 3,700 千円)
